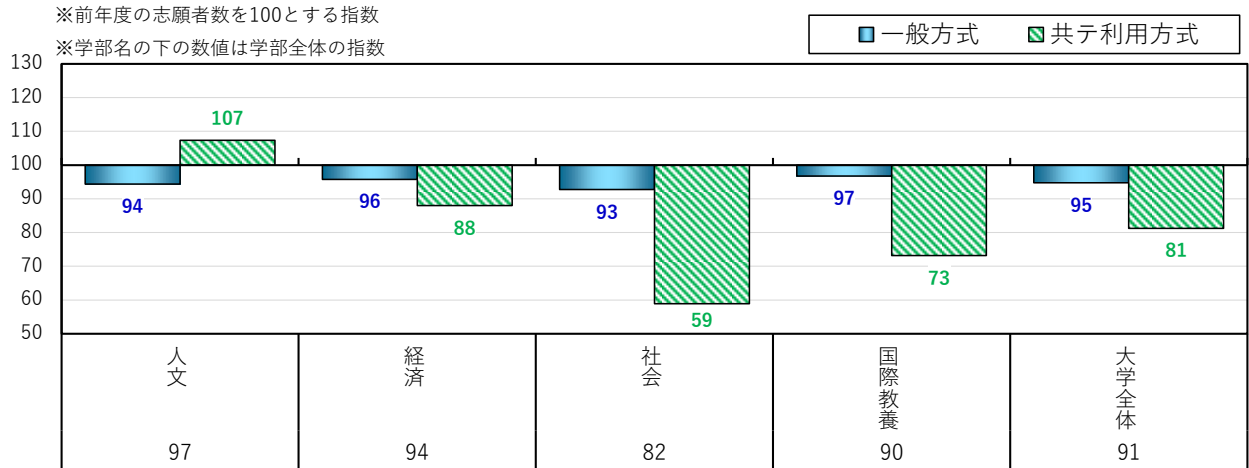


武蔵大：4 学部全てが減少、特に共テ利用が大幅減少

一般：-667 人 共テ：-907 人



<p>主な入試変更点</p> <p>入学検定料変更：共通テスト利用方式…1 学科・専攻につき 10,000 円→1 学科・専攻につき 15,000 円</p> <p>入試科目：国際教養(国際教養／経済経営学)</p> <p><一般・個別学部併願型> …国<100>+数<50>+外<200>+(歴公 or 数)<100>=総点<450> → 数<100>+外<200>+[国 or(歴公 or 数)]<100>=総点<400> ※国を必須から選択へ、4 教科→3 教科へ教科数削減</p> <p><共テ・前期>…国+数①+外+(歴公 or 数② or 理・理基 2) → 数①+外+(国 or 歴公 or 数② or 理・理基 2) ※国を必須から選択へ、4 教科→3 教科へ教科数削減</p> <p><共テ・後期>…数①+外+(国 or 歴公 or 数② or 理・理基 2) → 数①+外 ※(国 or 歴公 or 数② or 理・理基 2)を課さない、3 教科→2 教科へ教科数削減</p> <p>配点変更：国際教養(国際教養／経済経営学)</p> <p><一般・全学部統一型>…数<50>+外<100>+(国 or(歴公 or 数))<100>=総点<250> → 数<100>+外<100>+(国 or(歴公 or 数))<100>=総点<300> ※数の配点アップ</p> <p><一般・全学部統一グローバル型>…数<50>+外<150>+(国 or(歴公 or 数))<100>=総点<300> → 数<100>+外<150>+(国 or(歴公 or 数))<100>=総点<350> ※数の配点アップ</p>	<p>97</p>
---	-----------

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前年度大幅増加の反動で 1,574 人(91)の減少。学部別では、4 学部全てが減少。方式別では、一般方式は 667 人(95)のやや減少。共通テスト利用方式は入学検定料値上げの影響もあって、907 人(81)の大幅減少。いずれも前年度大幅増加の反動も影響。共通テスト受験前に出願締め切りの<共テ・前期>(94)は前年度大幅増加の反動でやや減少。共通テスト受験後に出願可能な<共テ・後期>(38)は減少率 60%以上の激減。

<一般方式>

- 人文(94)**は、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。学科別では、3 学科中 2 学科が減少。(ヨーロッパ文化)(86)は前年度大幅増加の反動で減少、(日本・東アジア文化)(95)は前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。一方で、(英語英米文化)(103)は前年度大幅増加に引き続きやや増加。方式別では、<全学部統一グローバル型>(120)は前年度の増加に引き続き大幅増加。一方で、<個別学部併願型>(79)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。<全学部統一型>(99)は前年度並。
- 経済(96)**は、やや減少で前年度の微減を含めて 3 年連続減少。学科別では、3 学科中 2 学科が減少。(金融)(88)は減少、志願者数は 5 年ぶりに 1,500 人を下回った。(経営)(95)はやや減少で 3 年連続減少。一方で、(経済)(105)は 3 年連続減少の反動は小さくやや増加。方式別では、<個別学部併願型>(88)は減少で 3 年連続減少、<全学部統一グローバル型>(103)は前年度大幅増加に引き続き 2 年連続増加。<全学部統一型>(100)は微減だが 4 年連続減少。
- 社会(93)**は、前年度 3 年連続減少から微増だったが再びやや減少。学科別では、(メディア社会)(83)は大幅減少で志願者数は 1,500 人を下回った。一方で、(社会)(104)はやや増加で 2 年連続増加。方式別では、<個別学部併願型>(77)は大幅減少。<全学部統一型>(97)はやや減少。一方で、<全学部統一グローバル型>(158)は 2 年連続大幅減少の反動で 60%近い大幅増加。
- 国際教養(97)**は、学部新設 2 年目だがやや減少。学科・専攻別では、(国際教養／グローバルスタディーズ)(90)は減少。一方で、(国際教養／経済経営学)(116)は大幅増加と対照的。方式別では、<全学部統一型>(114)は増加、<全学部統一グローバル型>(97)はやや減少。<個別学部併願型>(90)は減少。

<共通テスト利用方式>

- 人文(107)**は、3 年連続減少の反動は小さくやや増加。志願者数は 3 年連続 1,000 人を下回った。学科別では、3 学科中 2 学科が増加。(英語英米文化)(123)は 2 年連続大幅増加。(日本・東アジア文化)(118)は 7 年連続減少の反動で大幅増加。一方で、(ヨーロッパ文化)(82)は大幅減少で 5 年連続減少。方式別では、<共テ・前期>(125)は大幅増加、<共テ・後期>(54)は大幅減少で 2 年連続減少。
- 経済(88)**は、減少で 2020 年度以降前年度の反動による増減が継続。学科別では、3 学科中 2 学科が増加。(経営)(126)は大幅増加で 2018 年度以降前年度の反動による増減が継続。(経済)(107)は前年度大幅増加に引き続きやや増加。一方で、(金融)(34)は前年度 2.5 倍増以上の反動で増減率 70%近い激減。方式別では、<共テ・前期>(111)は増加で 2 年連続増加。<共テ・後期>(31)は減少率約 70%の激減。

- 社会(59)**は、大幅減少で3年ぶりに減少で、志願者数は900人を下回った。学科別では、(メディア社会)(39)は前年度大幅増加の反動で60%以上の激減で、志願者数は300人台となった。(社会)(85)は2年連続大幅減少で、志願者数は8年ぶりに600人を下回った。方式別では、<共テ・前期>(62)は大幅減少、<共テ・後期>(38)は激減。
- 国際教養(73)**は、新設2年目だが大幅減少。学科・専攻別では、(国際教養/グローバルスタディーズ)(53)はほぼ半減。一方で、(国際教養/経済経営学)(152)は大幅増加と対照的。入試教科数を削減した(国際教養/経済経営学)<前期>(184)は激増。一方で、(国際教養/経済経営学)<共テ・後期>(59)も入試教科数を削減したが大幅減少。(国際教養/グローバルスタディーズ)<共テ・前期>(57)は大幅減少。(国際教養/グローバルスタディーズ)<共テ・後期>(29)は激減、